



名刺を2色刷りから4色刷りへ。 なのに、年間コスト約260万円減。

三国コカ・コーラボトリング株式会社 [販売業]

清涼飲料水の製造並びに販売を通して、地域社会に貢献する企業をめざす。



担当者へ聞く カラーカードプリンターの導入効果

色数が増えても コストは減った

経済性

鮮やかな赤が印象的なコカ・コーラのロゴマーク。三国コカ・コーラボトリングの名刺を社内でプリントすることになったのは、実はこのロゴマークが深く関係していたと



いう。昨年、ロゴを従来の2色刷りから4色刷りの鮮やかなマークへと一新したことから、ロゴの

入ったツールはすべて作り換えになったのだ。「名刺も4色刷りになったことで、印刷の見積もりが上がってしまったんです」と苦笑いしながら話すのは総務部の澁沢茂さん。あまりにも高くなった作成コストに、外注をあきらめ会社でつくろうと決断したという。従来の2色刷り名刺を外注していたところのコストは1枚あたり14.5円、ところが新しい

4色刷りの名刺をキヤノンのカラーカードプリンターで作成した場合、1枚あたりわずか5円で作成できることがわかった。「1枚あたり10円も安くできるとは驚きました」と澁沢さん。三国コカ・コーラボトリングでは、年間およそ26万枚の名刺が必要になるという。つまり名刺を社内でプリントすることにより、約260万円のコスト削減が可能になったというわけだ。

使えない名刺を 発生させない

省資源

ロゴマークを改定した時期とほぼ同じころに、三国コカ・コーラボトリングは企業内の積極的な環境対策が認められISO14001を取得した。キヤノンのカラーカードプリンターはオンデマンド作成によって、用紙やインクなど資源のムダ遣いを抑えることができる。省資源という側面から、プリンターが企業の環境への取り組みに貢献できたことはあるか聞いた。「部署の異動に

よって発生する“使えない名刺”を防ぐために、社員は規定以上の枚数の名刺を持つことはできません。しかし手持ちの名刺をきらしてしまっても、必要に応じてつくられるので不安はないのです」。プリンターの対応力が結果的に資源の有効活用につながったようだ。

表現力の高さに お客さまもびっくり

美しさ

新しい名刺には4色のロゴマークやISOマークなどプリントされる要素が多いが、仕上がりのクオリティについての評価はどうなのだろうか。「コーポレートカラーの赤はもちろん、マークも細部にわたって美しく表現されています。お客さまに『社内でつ



くりました』と申し上げるとたいへい驚かれますね」と澁沢さんはうれしそうに答えた。美しさは社内でも定評があり、営業部からは名刺に顔写真を入れようという提案が出るほどだという。優れた表現力が、三国コカ・コーラボトリングのさらなるCS向上に結びつきそうな予感がした。

カラーカードプリンターでこれだけコスト削減できました。

新しいロゴマークが多色刷りであることから、名刺の作成コストが上がるという懸念があった。しかし外注作成から社内プリント作成に切り替えたことにより、むしろコストは大幅に削減できた。今では年間約260万円も節約できるという。

●年間の名刺作成コスト比較

外注作成の場合	3,884,813円*
社内プリントの場合	1,336,370円*

*年間267,100枚プリントしたときの作成コスト。